

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4079800225		
法人名	社会福祉法人 福寿会		
事業所名	グループホーム なごみの丘		
所在地 (電話番号)	福岡県田川郡福智町伊方2594-1 (電話)0947-22-7530		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成21年10月5日	評価確定日	平成21年11月13日

【情報提供票より】(平成21年8月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 8人, 非常勤 8人, 常勤換算 9.1 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り 1 階建て		
------	------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (8月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低 69 歳	最高 91 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	赤池共同病院・杉原歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

福知山系の山々が連なる緑豊かな自然環境の中に、「グループホームなごみの丘」は位置している。広々とした敷地の中に、母体となる30年の歴史を持つ特別養護老人ホームが隣接しており、合同行事等により日常的に交流が図られている。ゆとりある広さを持つ共用空間は清潔感があり、木の温もりを感じる明るい空間となっており、それぞれの場所でくつろいでいる入居者の方々の姿がある。職員は入居者の望む生活スタイルを大切に、その有する能力を発揮できるように支援していきたいと日々のケアに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価以降、運営推進会議の定期開催やホーム独自の避難訓練の実施、権利擁護に関する制度について資料の整備や研修実施への働きかけが行われており、積極的な取り組みが確認できる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価作成にあたっては職員間で意見を出し合い、振り返りの機会としている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	前回評価以降、運営推進会議の定期開催が実現している。地域代表(老人会会長)の参加により、災害対策への連携体制づくりに協力してもらっている。家族の参加が少ないため、親睦会等を開催し、積極的な参加を働きかけていきたいとの意向がある。今後も更に意義のある開催を目指して、関係者への働きかけや内容の工夫等の取り組みに期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	ホームの苦情相談窓口や外部機関について明示している。今後、家族会の発足に向けて働きかけを行なっていく意向である。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入はしていないが、母体となる特別養護老人ホームは開設30年を迎えており、法人として地域との交流には歴史がある。合同行事の際には、地域の幼稚園や老人会、ボランティアの方々との交流があり、今後はホームとして独自の取り組みを模索している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	法人理念と共に、地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念を掲げており、「安心、ふれあい、ゆとり」を目標として入居者一人ひとりを尊重し、個別のニーズに応じたサービスの提供に努めている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	目に付きやすい場所に理念を掲示し、定例会議等においても確認しながら、理念にそった支援となるよう共有・浸透を図っている。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	同法人の併設施設の行事等に参加し、地域住民やボランティア、幼稚園児との交流がある。また地域行事(敬老会等)にも参加しており、今後はホームでの楽しみごと(園芸・踊り等)を通じて交流を充実させていきたいと考えている。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
4	7	評価の意義の理解と活用	前回課題として指摘のあった項目に、1つ1つ改善に向けて取り組んでおり、災害対策や運営推進会議の定期開催、権利擁護に関する制度の活用等、具体的な取り組みが確認できる。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	前回評価以降、運営推進会議の定期開催が実現している。地域代表(老人会会長)の参加により、災害対策への連携体制づくりに協力してもらっている。家族の参加が少ないため、親睦会等を開催し、積極的な参加を働きかけていきたいとの意向がある。今後も更に意義のある開催を目指して、関係者への働きかけや内容の工夫等の取り組みに期待したい。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	毎月開催されている福智町グループホーム連絡協議会には、町役場職員も参加しており、情報交換や共有に努めている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	前回評価以降、日常生活自立支援事業や成年後見制度について、必要となった場合に活用に向けての支援が行えるよう資料を準備し、またグループホーム連絡協議会の中での研修に参加予定となっている。今後も継続して学ぶ機会を確保し、職員の知識を深めていきたいと考えており、継続しての取り組みに期待したい。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	家族が来訪する機会も多く、状況報告や介護計画の説明・同意を得る機会ともなっている。年2回発行されている「広報なごみの丘」では、日々の暮らしの様子や新人職員が写真付きで紹介されている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	ホームの苦情相談窓口や外部機関について明示している。今後、家族会の発足に向けて働きかけを行なっていく意向である。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	異動はほとんど行われていない。2ユニット全体での馴染みの関係づくりが行われており、やむを得ず異動や離職が発生した場合にも、さりげない配慮を行いサポートしている。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の採用にあたっては、年齢や性別による排除は行っていない。また得意分野を發揮できるよう配慮している。法人として人事考課制度を取り入れている。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	理念の中で「個人の尊重」を謳っており、理念の共有・実践に努めることが人権尊重にもつながっている。高齢者虐待防止や身体拘束についても、会議の場や日々のケアの場面において指導を徹底している。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	外部研修に参加し、職員間で情報の共有を図っている。内部研修の充実に向けて、マニュアルの見直しから取り組み始めている。今後は、母体法人との連携を活かした研修実施も含め、内容の充実に期待したい。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	福智町グループホーム連絡協議会に参加し、意見交換や情報の共有が図られている。今後は相互訪問の実現や勉強会の充実等に取り組んでいきたいと考えている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	2泊3日の体験入居を実施しており、少しずつ雰囲気慣れてもらいながら安心して入居できるよう支援している。自宅や入院先に訪問して、本人や家族、関係者より情報収集を行い、個別の柔軟な対応に努めている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	生活の知恵や得意分野など教えてもらうことも多く、同じ時間を過ごしながら支えあう関係づくりに努めている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	思いや意向を伝えることが困難な方には、表情や行動、家族や関係者からの情報を参考にして、本人本位に検討している。		職員は様々な情報を収集し、本人本位の支援に努めていることが伝わるが、記録し共有することが望まれる。アセスメントの充実により、生活歴や趣味・嗜好など本人の全体像を把握し、計画作成への反映、また役割や楽しみごとへの支援につなげて欲しい。
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人・家族の意向を大切に、職員間で意見交換を行いながら課題を検討し、介護計画を作成している。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	基本的には3ヶ月に1回の見直しとなっているが、状況に変化があった場合は臨機応変に見直しを行なっている。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援	家族の状況に応じて受診介助や、買い物への付き添いを支援している。		
		本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援	入居前のかかりつけ医への受診を基本としており、受診介助にも柔軟に対応している。ホームの協力医への受診も含めて、本人・家族にとっての最良の方法を選択している。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	入居時にホームとしての対応が可能な支援について伝えていく。家族や医療関係者との連携を密にし、また話し合いを重ねている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	ミーティングや日々のケアの中で、入居者に対する声かけや対応について、常に配慮するよう意識向上を図っている。個人情報の取り扱いにも配慮が見られる。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	大まかなスケジュールは設定しているが、一人ひとりのライフスタイルを尊重した支援に努めている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	調理は併設施設で行なわれおり、テーブル拭きや配膳、下膳等を個々の力を活かして職員と共に行なっている。複数の献立があり、嗜好にあわせて選択している。ホームでは時折おやつ作りを共に行い、雰囲気を楽しむ機会もある。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	本人・家族の希望にあわせて、毎日の入浴にも対応している。車椅子のまま入浴が出来る大きな浴槽も設置されている。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	園芸の好きな方や字を書くことが得意な方など、その力を発揮できる場面づくりを支援している。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	自然豊かな環境の中、季節にあわせた外出支援を行っている。敷地が広く、散歩や日向ぼっこにより外気浴を楽しんでいる。買い物希望がある時には、その都度対応している。		
		事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	玄関についてはセンサーを取り付け日中は開錠していたが、センサーの音の弊害があり、現在は玄関のみ施錠している。その他の出入り口は開放している。		入居者の安全面への配慮と施錠による弊害、自由な暮らしへの支援について、周辺状況や地域の協力、行動心理の把握や職員の意識、見守り体制等について、運営推進会議にて話し合いを行なってみてはどうでしょうか。
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	年に2回の消防訓練を実施している。管理者は消防団の一員となっており、災害時の連携・協力が得やすい。運営推進会議等にて避難訓練への参加・協力を地域の方々へ働きかけており、今後の実現に期待したい。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	併設する母体施設の管理栄養士により、バランス等に配慮された献立が作成されている。医師の助言を得ながら、一人ひとりの状況にあわせた支援が行われている。食事摂取量を記録し、水分量についても状況にあわせて確認・記録が行われている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

グループホーム なごみの丘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	ホールや食堂、掘り炬燵のある和室等、広々とした空間があり、それぞれの場所でくつろいでいる姿がある。観葉植物や季節の花、また入居者と職員による共同制作の小物も飾られており、和みのある空間づくりがなされている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	クローゼットが設けられている各居室には、使い慣れた筆筒や机など馴染みの家具が持ち込まれている。それぞれの趣味を活かした飾りつけや大切な写真が飾られ、その人らしい空間となっている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			